

□定積分

数学Ⅱで学んだように、関数  $f(x)$  の定積分  $\int_a^b f(x) dx$  は、次のように定義される。 $a$  をこの定積分の **下端**、 $b$  を **上端** という。

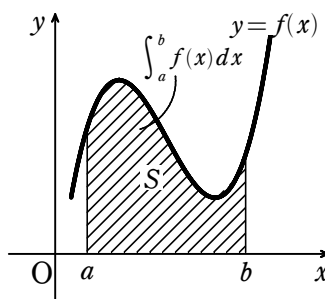
**定積分**

ある区間で連続な関数  $f(x)$  の原始関数の1つを  $F(x)$  とし、  
 $a, b$  をその区間に含まれる任意の値とするとき

$$\int_a^b f(x) dx = [F(x)]_a^b = F(b) - F(a)$$

上-下

定積分  $\int_a^b f(x) dx$  を求めることを、 $f(x)$  を  $a$  から  $b$  まで **積分する** という。区間  $[a, b]$  で常に  $f(x) \geq 0$  のとき、定積分  $\int_a^b f(x) dx$  は、曲線  $y=f(x)$  と  $x$  軸および2直線  $x=a, x=b$  で囲まれた右の図の斜線部分の面積  $S$  を表す。



**証明**  $a \leq x \leq b$  である任意の数  $x$  に対して、 $a$  から  $x$  までの範囲で、  
 曲線と  $x$  軸で囲まれた部分の面積を  $F(x)$  とする。

このとき、 $x$  の増分  $\Delta x (> 0)$  に対し、区間  $[x, x + \Delta x]$  における  $f(x)$  の最大値を  $M$ 、最小値を  $m$  とすると

$$m\Delta x \leq F(x + \Delta x) - F(x) \leq M\Delta x$$

よって  $m \leq \frac{F(x + \Delta x) - F(x)}{\Delta x} \leq M$

$f(x)$  は区間  $[x, x + \Delta x]$  で連続であるから、中間値の定理により

$$\frac{F(x + \Delta x) - F(x)}{\Delta x} = f(t), \quad x < t < x + \Delta x$$

を満たす  $t$  が存在する。

$\Delta x \rightarrow +0$  とすると  $t \rightarrow x$  となり、 $f(x)$  は連続であるから  $\lim_{t \rightarrow x} f(t) = f(x)$

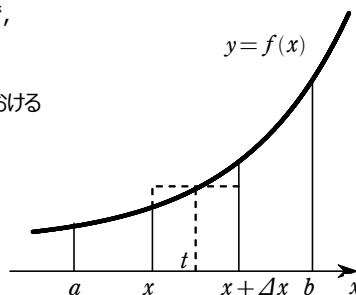
よって  $\lim_{\Delta x \rightarrow +0} \frac{F(x + \Delta x) - F(x)}{\Delta x} = f(x)$

$\Delta x < 0$  の場合も同様に  $\lim_{\Delta x \rightarrow -0} \frac{F(x + \Delta x) - F(x)}{\Delta x} = f(x)$  が成り立つ

したがって  $\lim_{\Delta x \rightarrow 0} \frac{F(x + \Delta x) - F(x)}{\Delta x} = f(x)$  であるから

求める面積は  $F(b)$  であり、 $F(a) = 0$  であるから

$$F(b) = F(b) - F(a) = \int_a^b f(x) dx$$



例 1) (1)  $\int_1^3 \sqrt{x} dx = \int_1^3 x^{\frac{1}{2}} dx$

$$= \left[ \frac{2}{3} x^{\frac{3}{2}} \right]_1^3$$

$$= \frac{2}{3} \left( 3^{\frac{3}{2}} - 1^{\frac{3}{2}} \right)$$

$$= \frac{2}{3} (3\sqrt{3} - 1)$$

数Ⅱの定積分と同様  
不定積分を [ ] で囲う  
(積分定数 C は不要)

(2)  $\int_0^\pi 6\sin 3\theta d\theta = \left[ 6 \cdot \frac{1}{3} \cdot (-\cos 3\theta) \right]_0^\pi$

3θ が θ だったらいいのにな

$$= -2 \left[ \cos 3\theta \right]_0^\pi$$

$$= -2 (\cos 3\pi - \cos 0)$$

$$= -2 (-1 - 1)$$

$$= -2 \cdot (-2)$$

$$= 4$$

### □ 定積分の基本性質

数学Ⅱで学んだように、定積分について、次のことが成り立つ。

#### 定積分の性質

1  $\int_a^b k f(x) dx = k \int_a^b f(x) dx$     ただし,  $k$  は定数

2 & 3  $\int_a^b \{f(x) \pm g(x)\} dx = \int_a^b f(x) dx \pm \int_a^b g(x) dx$

上端下端ひっくり返すと  
符号も変わる

4  $\int_a^a f(x) dx = 0$     線分の面積は 0

5  $\int_b^a f(x) dx = -\int_a^b f(x) dx$

6  $\int_a^b f(x) dx = \int_a^c f(x) dx + \int_c^b f(x) dx$     被積分関数が変わらなければ  
つなげたり、ばらしたりしても OK

例 7 + α) 次の定積分を求めよ。

(1)  $\int_1^2 \frac{3x-4}{x^2} dx = \int_1^2 \left( \frac{3}{x} - \frac{4}{x^2} \right) dx$

分母が単項なので分割する

$$= 3 \int_1^2 \frac{dx}{x} - 4 \int_1^2 x^{-2} dx$$

$$= 3 \left[ \log |x| \right]_1^2 - 4 \left[ -\frac{1}{x} \right]_1^2$$

区間 [1, 2] において  $x > 0$  であるから  $\log x$  でもよい

$$= 3(\log 2 - \log 1) - 4 \left\{ \left( -\frac{1}{2} \right) - (-1) \right\}$$

符号注意

$$= 3(\log 2 - 0) - 4 \left( \frac{1}{2} \right) = 3\log 2 - 2$$

$$(2) \int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin 3x \sin 2x dx = \int_0^{\frac{\pi}{2}} \left\{ -\frac{1}{2}(\cos 5x - \cos x) \right\} dx$$

積和の公式

(加法定理から作る)

$$= -\frac{1}{2} \left( \int_0^{\frac{\pi}{2}} \cos 5x dx - \int_0^{\frac{\pi}{2}} \cos x dx \right)$$

$$= -\frac{1}{2} \left( \left[ \frac{1}{5} \sin 5x \right]_0^{\frac{\pi}{2}} - \left[ \sin x \right]_0^{\frac{\pi}{2}} \right)$$

$$= -\frac{1}{2} \left\{ \frac{1}{5} \sin \frac{5}{2} \pi - \frac{1}{5} \sin 0 - \sin \frac{\pi}{2} + \sin 0 \right\}$$

$$= -\frac{1}{2} \left( \frac{1}{5} \cdot 1 - \frac{1}{5} \cdot 0 - 1 + 0 \right)$$

$$= -\frac{1}{2} \left( \frac{1}{5} - \frac{5}{5} \right)$$

$$= -\frac{1}{2} \cdot \left( -\frac{4}{5} \right)$$

$$= \frac{2}{5}$$

$$(3) \int_0^{\pi} \sin^2 x dx = \frac{1}{2} \int_0^{\pi} (1 - \cos 2x) dx$$

$$= \frac{1}{2} \left( \left[ x - \frac{1}{2} \sin 2x \right]_0^{\pi} \right)$$

$$= \frac{1}{2} \left\{ \left( \pi - \frac{1}{2} \sin 2\pi \right) - \left( 0 - \frac{1}{2} \sin 0 \right) \right\}$$

$$= \frac{1}{2} (\pi - 0 - 0 + 0)$$

$$= \frac{\pi}{2}$$

**注意**  $\int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin \theta d\theta = \int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin x dx = \int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin t dt$  が成り立つことも注意しておこう

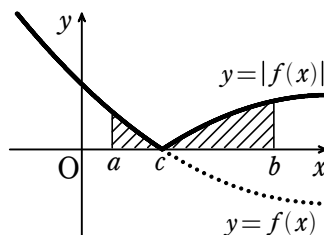
□絶対値のついた関数の定積分

関数  $f(x)$  が  $a \leq x \leq c$  のとき  $f(x) \geq 0$ ,  $c \leq x \leq b$  のとき  $f(x) \leq 0$  であるとする。このとき、絶対値のついた関数  $|f(x)|$  を  $a$  から  $b$  まで積分するには、次のように区間を分けて行う。

$$\int_a^b |f(x)| dx = \int_a^c f(x) dx + \int_c^b \{-f(x)\} dx$$

この定積分  $\int_a^b |f(x)| dx$  は、 $y = |f(x)|$  のグラフと  $x$  軸および

2 直線  $x = a$ ,  $x = b$  で囲まれた 2 つの部分の面積の和を表している。



まずは絶対値記号を外すことから!

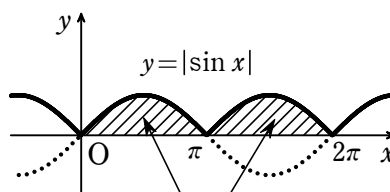
**例題 7)** 定積分  $\int_0^{\frac{4}{3}\pi} |\sin x| dx$  を求めよ。

**解答**  $0 \leq x \leq \pi$  のとき  $|\sin x| = \sin x$

$\pi \leq x \leq \frac{4}{3}\pi$  のとき  $|\sin x| = -\sin x$

よって

$$\begin{aligned} \int_0^{\frac{4}{3}\pi} |\sin x| dx &= \int_0^{\pi} \sin x dx + \int_{\pi}^{\frac{4}{3}\pi} (-\sin x) dx \\ &= [-\cos x]_0^{\pi} + [\cos x]_{\pi}^{\frac{4}{3}\pi} \\ &= (-\cos \pi + \cos 0) + \left(\cos \frac{4}{3}\pi - \cos \pi\right) \\ &= (1+1) + \left(-\frac{1}{2} + 1\right) = \frac{5}{2} \end{aligned}$$



0 から  $2\pi$  までのときは  
グラフの周期性により

$$\begin{aligned} &2 \int_0^{\pi} \sin x dx \\ &= 2[-\cos x]_0^{\pi} \\ &= 2(1+1) \\ &= 4 \end{aligned}$$

と見ることもできる

**練習 16)** (2) 定積分  $\int_{-1}^2 |e^x - 1| dx$  を求めよ。

$-1 \leq x \leq 0$  のとき  $|e^x - 1| = 1 - e^x$

$0 \leq x \leq 2$  のとき  $|e^x - 1| = e^x - 1$

であるから

$$\begin{aligned} \int_{-1}^2 |e^x - 1| dx &= \int_{-1}^0 (1 - e^x) dx + \int_0^2 (e^x - 1) dx \\ &= [x - e^x]_{-1}^0 + [e^x - x]_0^2 \\ &= \left\{-1 - \left(-1 - \frac{1}{e}\right)\right\} + (e^2 - 2 - 1) \\ &= e^2 + \frac{1}{e} - 3 \end{aligned}$$

